

ぱびるす

2014年 **7** 月号

編集／発行 苫小牧市立中央図書館 指定管理者 TRC苫小牧グループ
〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目1番15号 ☎ 35-0511 Fax35-0519 ✉ info@tomakomai-lib.jp

中央図書館月間カレンダー7月

月	火	水	木	金	土	日	
	1	2	3	4	5	6 ★15:00~15:30 よみきかせ会	【7月】 図書館ミニシアター 
7 休館日	8	9	10	11	12 ★11:00~11:30 よみきかせ会 ◇14:00~14:30 紙芝居	13	○ お子さん向け 『ムーミン谷の彗星』 62分
14 休館日	15	16	17	18	19 ◆14:00~14:30 ストーリーテリング おはなし会	20 ★15:00~15:30 よみきかせ会	● 一般向け 『幸せの教室』 98分
21	22	23	24	25 館内整理休館日	26 ★11:00~11:30 ★14:30~14:30 よみきかせ会	27	ミニシアターのご案内 会場 2階講堂 時間 13:30~ 入場無料・申込不要 
28 休館日	29	30	31	26・27日は、 苫小牧文化公園 アートフェスティバル2014!			

★ 苫小牧子どもの本の会 ☆ にじのはし ◇ 紙芝居おじさん(サンガーデン) ◆ おはなしオルゴール

『苫小牧文化公園アートフェスティバル2014』

7月26日(土) 10:00~20:00
7月27日(日) 10:00~16:00

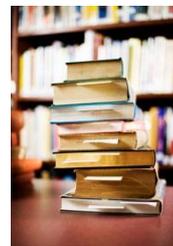
図書館で行われるイベント

- 7/26(土) 19:00~
朗読とギターの夕べ(会場:図書館エントランス)
毎年好評のこの企画、今年もギタリストの竹形貴之さん、朗読担当に朗読グループ花音のお二人と苫小牧東高校演劇部の皆さんをお招きして開催いたします。
- 7/27(日) 10:00~
本のばくりっこ市
本棚に眠っている読まなくなってしまった本、ありませんか?お手持ちの本と図書館の本を“ばくりっこ”するイベントです。あなたにとってはもう必要ない本でも他の人には価値のある本かもしれません。その逆もまた然りです。意外な掘り出し物もあるかも?



苫小牧文化公園アートフェスティバル2014が7月26日(土)、27日(日)の二日間、今年も市民文化公園で開催されます。今年で5回目を迎えます当イベントですが、公園の様々な場所で演奏やパフォーマンス、ワークショップなども開かれます。

会場内には食文化イベントもありますのでグルメまで楽しむことができちゃいます。中央図書館でもイベントを開催いたしますのでぜひお越しください!たくさんの方のお越しをお待ちしております!ポスター兼パンフレットも配布しておりますので図書館以外のイベントはこちらをご参照ください。



イベントに関するお問い合わせ先はこちらです↓
文化公園アートフェスティバル実行委員会事務局: 苫小牧市教育委員会生涯学習課
Tel:0144-32-6752 E-mail:shogai@city.tomakomai.hokkaido.jp



桜木紫乃さんトークライブ 【図書館文化セミナー】



6月22日(日) 天気がとても良く、苫小牧らしい風の吹く中、図書館文化セミナーとして、第149回直木賞受賞作家の『桜木紫乃』さんをお招きして、苫小牧市文化会館にてトークライブを行いました。開場は13時からでしたが、12時を過ぎた頃から続々とお集まりいただき、13時にはすでに長蛇の列となっていました！来場、誠にありがとうございます。13時の開場とともに入っていただき、来場者数は約450名でした。席はほぼ満席の状態、キャンセル待ちの方もいらっしゃいましたが、無事にみなさまお席につけたようでホッとしました。13時半までの30分間、桜木紫乃さんの本のお話をさせて待っている方がほとんどでした。



【桜木紫乃さんプロフィール】

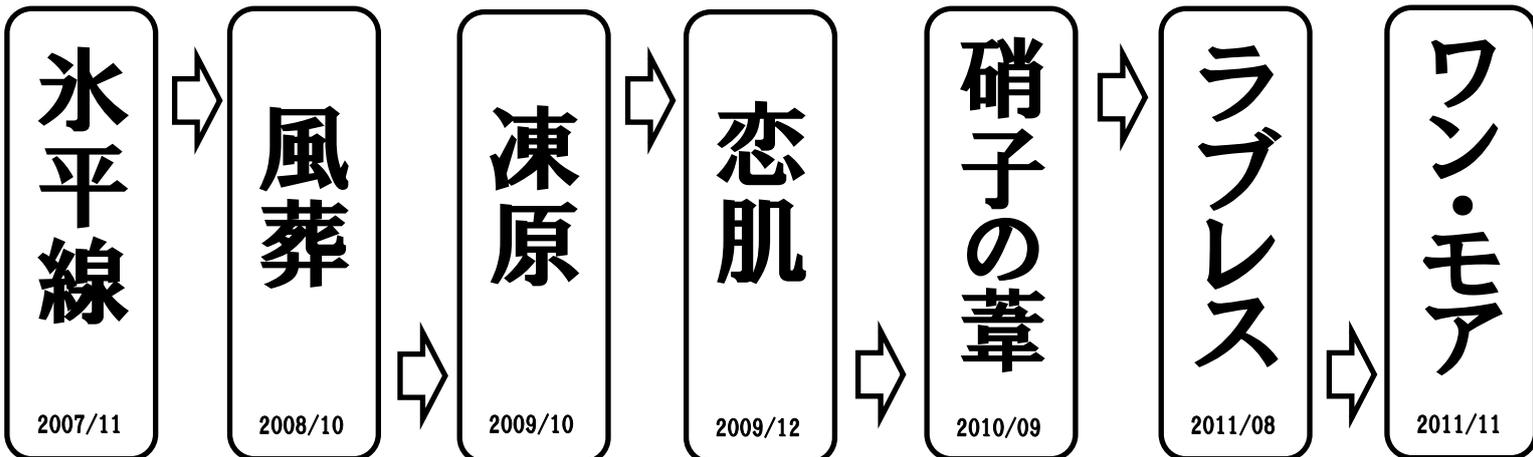
釧路市出身。「雪虫」でオール読物新人賞を受賞し、2007年『水平線』でデビューする。2013年『ホテル・ローヤル』で第149回直木賞受賞。現在「STORY BOX」(小学館)にて、『霧〜ウラル』を連載中のほか、詩人としても活動していて、旺盛な執筆活動を展開している。ヴィジュアル系エアバンドのゴールデンボンバーの熱狂的ファンでも知られている。

桜木紫乃さんのトークのお相手は、桜木さんが「最も話しやすい相手」と認める人物である釧路のローカルFMでパーソナリティを務める大津桃子さん。

「桜木紫乃のおっかけ・応援団長」と自認するほどのファンだそうです！彼女の紹介と、お客さまの拍手で迎えられた桜木さんが登場。桜木さんが笑顔で自己紹介すると、また大きな拍手が起こりました。少し桜木さんと大津さんがやりとりをしていたのですが、なにか話すたびに会場に笑いが起こります。この「漫才」を見ているような掛け合いの中、トークライブがはじまります・・・！

桜木紫乃 ストーリーズ

デビュー作から順番に現在連載中までの著作本を紹介。





次のトークは、桜木紫乃さんの担当編集者である、小学館出版局の幾野克哉さんを交えての、3名によるトークでした。担当編集者ならではの桜木さんの素顔や裏話など、なかなか聞くことのできない話やここだけの話などを、これまた漫才のような掛け合いでお話しされていました。著者と編集担当者は、切っても切れない関係です。桜木さんと幾野さんはお互い信頼し合ってベストを尽くすパートナーだというのが、トークを通じて感じられました。



最初のトークは、事前に苫小牧市立中央図書館で集めた質問に、どんどん答えて頂くという内容でした。集まった質問の数はなんと77個！当日に集められた質問も含めると、約80ほどの質問になりました。こんなにたくさん質問がありました、なんと桜木さんは「すべての質問に答えます！」という宣言をなされました！質問の内容はトークの一時間前にお知らせしたのですが、さすが桜木さん・・・心が広いです。パスはお客様より5回までと言われていたのですが・・・。なんと桜木さん、パスを使わずにすべての質問にお答えいただきました！ライトな質問から真面目な質問、比較的コアな質問などなど、いろいろな質問があったにも関わらず、すべて1時間ほどで答えて頂きました！北海道を舞台にした作品も多いので、ぜひここ「苫小牧」を舞台にどうですか？という質問もありましたが、桜木さんいわく、「前向きに検討してみます」とのことでした。みなさん期待しましょう！すべての質問に、面白おかしく答えたり、真剣に答えたり・・・。桜木さんと大津さんの息のあった掛け合いにみなさん聞き入っていました。本当に漫才を見ているような。このまま終わってしまうのはもったいない！と思ってしまうくらい面白く、とても素敵な空間でした。すべての質問が終わった後に、桜木さんが個人的に気に入った質問をしてくれた方に、サイン入りの書籍をプレゼントというサプライズもありました。残念ながら、質問して下さった方が、本日いらっしゃらないということもありましたが、何名かの方にサイン入り書籍をお渡しできました。中には直接桜木さんの手から受け取った方も！↑

トークの最後は、ご自身の著作本の紹介でした。「氷平線」から、今連載中の「霧〜ウラル」まで紹介してくださいました。桜木さんが思う理想の男女というのはだいたい最新刊の人たちだそうです。今年の6月に出たばかりである、『星々たち』は、いま桜木さんが1番オススメしている本です。その最新刊「星々たち（桜木さんサイン入り）」をプレゼントとして受け取った方がいらっしゃいました。なんて運の良い方！中央図書館でも新刊として所蔵しております。貸出をご希望の方は、ぜひご予約をお願いします。

1時間半に渡るプログラムがあっという間に感じるほど、楽しいトークをして下さった桜木さんと大津さん、幾野さん。素敵な時間をありがとうございました。会場にお越しく下さいました450名のお客様も本当にありがとうございました！次回の図書館文化セミナーにもご期待下さい。



※人気作品のため、ご予約をおすすめします。
(霧〜ウラルはまだ書籍化しておりません。)



一般書コーナー



図書館スタッフが実際に読んだオススメしたい本をご紹介します

新刊おすすめ本

『装丁・装画の仕事』

日本図書館設計家協会／編集・制作 玄光社 022.5 ヲ



「本の第一印象」を決めるのはどこだと思いませんか？もし、人であれば「見た目」が9割といいますが、本にも同じことが言えると思います。そんな本の「見た目」をデザイン・作画している人たちがいることをご存知でしょうか？彼らは『装丁家・装画家』と呼ばれています。まさに、ひとつひとつの本が持っている雰囲気ピッタリの衣装を決める、ファッションデザイナーやスタイリストと言ってもいいでしょう。何気なく目に留まって手に取ってみたい、そのままどんな本か確かめずに読んでみよう！と思ったりしたことはありませんか？そう思われたなら彼らの仕事は大成功と言えるでしょう。この本はそんな『装丁家・装画家』を紹介している本です。もちろんこの本も彼らによってデザインされています。とても面白い作りをしているので、ぜひ手に取って見てみてください！**映えるような黄色のデザインの本が目印です。**また、オマケで「製本ノチカラ2014」という小さな冊子もついております。「これほんとに本なの？」と思うような本が芸術作品として載っています。まさに「知のオブジェ」です！

『ばんぱいやのパフェ屋さん』

佐々木禎子／著 ポプラ社 B F サ 1



札幌市中央区、電車通りに近い商店街にできたおしゃれなパフェバー「マジックアワー」。ここの店員3人組、超美形だけどその正体は…道東からやってきた吸血鬼！？しかも飲むのは血じゃなくて〇〇！？現代の吸血鬼ってこんな感じ？主人公は、「ドミノ」という呼ばれ方をされるほどの虚弱体質の音斗くん。



なんだか気が抜けるイケメン3人に振り回されながらも成長していく姿には、応援したくなっちゃいます。

『まりこふんの古墳ブック』

まりこふん／著 山と溪谷社 210.2 マ



古墳シンガー・「古墳にコーフン協会」会長である著者が、独特の感性とイラスト付きで古墳をわかりやすく解説！授業で習っただけでは感じ得ないナマのコーフンを伝えようとする情熱が溢れる一冊です。「巻頭古墳グラビア」をはじめ、ちょっと面白い埴輪（ハニワ）や綺麗な勾玉（まがたま）も楽しく紹介。世の中には古墳祭りやハニワ祭りもあるんです！そして6タイプの古墳性格診断付き!! 1500年前から残されている偉大なる遺産、あなたもその魅力を感じとって下さい。

贈呈式

-有志の方から本をいただきました-



6月18日(水)、『ベンチャークラブ. t』さんより3万円相当の児童書の寄贈があり、感謝状の贈呈式が行われました。平成20年から数えて7回目の寄贈で、今回の本は「男の子とお母さんで楽しめる本」が9冊選ばれました。児童コーナーの検索機械横に展示されていますので、ぜひご利用ください。



書名	著者	請求記号
ドライブにいこう	間瀬なおかた	大型絵本
なつのいちにち	はたこうしろう	大型絵本
おとなも学べるこども礼儀作法	尾崎文春	38
あやとり大全集	野口廣	79



他5冊

予約ベスト10 一般カウンターでご予約の多い本を紹介します 

順位	タイトル	著者名	請求記号	出版	出版年月	予約件数
1	村上海賊の娘 上・下巻	和田 竜	Fワ	新潮社	2013.10	119
2	豆の上で眠る	湊 かなえ	Fミ	新潮社	2014.03	87
3	虚ろな十字架	東野 圭吾	Fヒ	光文社	2014.05	83
4	ホテルローヤル	桜木 紫乃	Fサ	集英社	2013.01	71
5	ペテロの葬列	宮部 みゆき	Fミ	集英社	2013.12	67
6	祈りの幕が下りる時	東野 圭吾	Fヒ	講談社	2013.09	63
7	大泉エッセイ	大泉 洋	772.1 オ	メディアファクトリー	2013.04	58
8	ケモノの城	誉田 哲也	Fホ	双葉社	2014.04	55
9	女のいない男たち	村上 春樹	Fム	文藝春秋	2014.04	45
10	昭和の犬	姫野 カオルコ	Fヒ	幻冬舎	2013.09	41

ついに『海賊とよばれた男』がランキング落ちました…とはいえまだまだお待ちしております。変わって今回からのニューフェイスはこちら！『虚ろな十字架』と『女のいない男たち』『ケモノの城』です。そして『村上海賊の娘』の予約数もますます伸びています！！

児童コーナー 

児童おすすめ本

『ずかんハチ』
 松本吏樹郎/監修 技術評論社 48ス
 夏休みまでもう少し。キャンプやアウトドアで虫を見つける機会もいっぱい！ということでハチの図鑑をご紹介します！かわいいミツバチからエモノに麻酔をうって貯蔵しちゃうタダモノじゃないハチまで美しい写真と豆知識が満載！今まで知らなかったハチのナゾがどんどん解明される画期的な図鑑です。夏休みの自由研究にもおすすめ！

『カンボジアの大地に生きて』
 ミンフォン・ホー/作 さ・え・ら書房 93カ
 故郷ではちゃんとした農民であっても、ひとたび土地を追われるとどこにも落ち着くことを許されない難民。このまいつまで追われつづければならぬのだらうー。カンボジア兵に故郷を焼かれた家族のお話です。知らなかったカンボジアの内側から書かれています。

『ボンバストゥス博士の世にも不思議な植物図鑑』
 イバン・バレネチェア/作 西村書店 Eホ
 19世紀の植物学者、ボンバストゥス・ドゥルシメール博士が考え出した、奇想天外な植物がアルファベット順にならぶ不思議な植物図鑑。「靴下ワタ」「音楽フランスギク」「会談リンゴ」本当にあるのか、それとも想像の産物なのか、それはボンバストゥス博士にしかわかりません。

『赤ちゃんと楽しむはじめての絵本ひろば』が6月20日(金)に行われました！ 

元気いっぱいな0～1歳の赤ちゃんと優しく見守るお母さん計12組の参加があり、アットホームな雰囲気の中開催されました。
 プログラムは、手や体を大きく使った遊び歌、ボランティアさんによる読み聞かせ、2つのグループにわかれてお話を楽しむ、以上3つの内容です。遊び歌は「いないいないばあ」「チーズがはみだした」「おすべりだい」のお母さんと赤ちゃんが一緒になって体を動かす内容で、暖かな笑い声の中進んでいきました。読み聞かせの「ごぶごぶごぼごぼ」と「もこもこもこ」は音の響きが楽しい絵本で、耳を澄ませながら聞き入りました。グループにわかれた時は「読み聞かせは何時にする？」「どんな本を読んでいるの？」などお母さん方からの質問もありました。全部合わせて1時間という限られた時間の中ではありますが、意見を交換しつつ、参加された皆さんのおかげで、ぎゅっと濃いイベントとなることができました！どうもありがとうございました。
 『赤ちゃんと楽しむはじめての絵本ひろば』は、隔月で開催しております。図書館のカードを持っていない方、図書館を利用されたことのない方も大歓迎！月齢の近い赤ちゃんと集まりますので、お母さん同士の交流の場にもなります。次回は8月に0歳の赤ちゃんと向けた内容で準備しておりますので、ぜひぜひご参加下さい！お待ちしております。

参考図書室／郷土行政資料室コーナー

『二階って何が出来る場所なの?』その2

さて、先月は郷土資料についてご説明しましたがまだまだ2階には色々な資料がありますよ!

もう一つの2階の主役が参考図書でございます。
黄色いラベル・館内閲覧シールが目印になります。国史大辞典にはじまり、各種百科事典や果てにはミミズ図鑑なんて一風変わった辞典などもございます。



こちらは大変申し訳ないのですが貸出は不可となっております。
参考資料や電話帳・新聞は通読(*)を目的とした資料ではありません。
必要な時に必要な方がご利用できるのが最優先の資料となっております。
辞書・事典などは一代前の古いものは貸出可能な場合もありますのでご相談ください。
新聞ですが例外を除き最新1年分を保存しております。
例外：苫小牧民報(前身の南北海含む)・北海道新聞・室蘭民報は永年保存しております。
バックナンバーをご覧になる際にはカウンターにある新聞閲覧申込用紙にご記入ください。
電話帳及び住宅地図ですが、こちらは苫小牧以外の場所のものは最新版1冊、苫小牧のものは過去分も含めて所蔵がございます。郷土カウンターにリストがありますのでご利用ください。
また、新聞のリストについてはホームページ上で公開しています。資料案内のページからPDFのリンクに飛べますのでそちらでもご確認いただけます。



さっと駆け足の紹介になってしまいましたがいかがだったでしょうか?本当はもっともっと紹介したいものもあるのですが紙面の都合上2回しか紹介できませんでした。ぜひ一度はご覧になってください。郷土・参考スタッフは入口で「この部屋には用事ないなあ…」という感じで去ってしまうお客様を見るととても悲しいのです。何の部屋かな?どんな本があるのかな?と一歩入っていただけるのを心よりお待ちしております♥

*【通読】初めから終わりまで一通り読むこと。よみとおすこと。
(岩波国語辞典 第五版より)

※参考・郷土資料室からのお願い※

資格・年齢等の条件に関係なくどなたでもご利用いただけますが、お願いごとがいくつかございます。
★鞆などの持込みは出来ません。入口にコインロッカーが御座いますので筆記用具類のみお持ちになっ
てご利用ください。
★椅子や机などもございますが、自習はご遠慮いただいております。自分の資料を持ち込んでの自習の場合は、電子情報サロン隣に自習室がございますのでそちらをご利用ください。



2階 参考・郷土担当スタッフの“おすすめ本”

おすすりめ本

『NASAより宇宙に近い町工場』
植松 努／著 ディスカ
ヴァー・トゥエンティワン
H538・9・ナ

リサイクルに使うパワーショベルにつけるマグネットを製造している赤平の町工場で、全額自腹で宇宙開発の仕事をし、ロケットを飛ばした。
『「できる」と思ったらできます。
『できない」と思ったらできません。それが宇宙開発です。』本書中に一転語が散りばめられている。現在も「鉄腕アトム」や「ドラえもん」に影響を受けた人たちがロボット開発にあたってたりする。心が元気になり、未来に希望が持てる本です。

『北海道詩集 No. 60 2013年版』
北海道詩人協会／編
H911.568 本 2013

「この度、人間の年齢で言えば、還暦に相当する六十歳を迎えました。」

この本についてP132ではこんな風に言われています。こんな表現を聞くとお祝いしてみたくはありませんか?詩なので読みやすいですし、中には「図書館」というタイトルの詩もありますので、どんな内容かは是非お手にとって確かめて下さい。

『リアルタイム「北海道の50年」経済編』上下
H 211リ1、2
株式会社 財界さっぽろ

東京オリンピックが開かれる一年前、1963年11月に創刊。以来、北海道経済をみてきた月刊誌「財界さっぽろ」が北海道経済に危機を感じたのが、1997年11月17日の拓銀経営破たん。もう一つが今。そこで、温故知新。1960年代から現在までの経済界をリアルに振り返ることができます。

移動図書館車 『とまチョップ号』

ご案内

いつも『とまチョップ号』をご利用いただきありがとうございます。
 移動図書館の巡回予定は、各巡回先と中央図書館・各窓口で予定表をお配りしています。ご希望の方はお気軽にスタッフまでお申し付けください！



ホームページでも
確認できます！



中央図書館ホームページ
<http://www.tomakomai-lib.jp>

画面右下の
 「とまチョップ号巡回スケジュール」
 をクリック！

巡回スケジュール

曜日	ステーション名	巡回時間	所在地	7月	8月	9月
第1 第3 (火)	1) 明野7号公園	13:40~14:20	明野元町2丁目	1	5	2
	2) 外ナイ小学校	14:40~15:40	字沼ノ端 930-1	15	19	16
第2 第4 (火)	3) ときわ中央通り交差点南	13:40~14:05	ときわ町2丁目	8	12	9
	4) 澄川7丁目中央通り	14:25~14:50	澄川町7丁目			
	5) 錦岡西14号公園	15:10~15:40	宮前町2丁目	22	26	23
第1 第3 (水)	6) はなぞの幼稚園	10:00~11:00	花園町2丁目	2	6	3
	7) 苫小牧民報佐野販売店前 (柏木5丁目)	13:40~14:20	柏木町5丁目			
	8) 日新小学校前	14:40~15:00	日新町3丁目	16	20	17
	9) 糸井小学校前	15:20~15:50	日吉町4丁目			
第2 第4 (水)	10) 永福2丁目公園	10:00~10:20	永福町2丁目	9	13	10
	11) 日吉4丁目公園	10:40~11:00	日吉町4丁目			
	12) 川沿5丁目公園	13:40~14:10	川沿町5丁目			
	13) しらかば公園	14:30~15:00	しらかば町2丁目	23	27	24
	8) 日新小学校前	15:20~15:50	日新町3丁目			
第1 第3 (木)	14) 青葉中央公園 (青葉2丁目)	10:00~10:20	青葉町1丁目	3	7	4
	15) あけの公園	13:30~14:20	明野新町3丁目	17	21	18
	16) 緑葉公園	14:50~15:50	拓勇東町2丁目			
第2 第4 (木)	17) 望洋台北公園	10:00~11:00	桜坂町2丁目	10	14	11
	18) 苫小牧あおば幼稚園	13:30~14:20	見山町4丁目			
	19) 西町公園	14:40~15:50	大成町2丁目	24	28	25
第1 第3 (金)	20) 山手公園	13:30~14:20	山手町2丁目	4	1	5
				18	15	19
第1 第4 (金)	21) 苫小牧熱供給	14:40~15:50	大成町1丁目	4	1	5
				11	8	12
				18	15	19
第2 第4 (金)	22) 有珠の沢5丁目バス停前	13:30~14:20	有珠の沢町5丁目	25	22	26
				11	8	12
				25	22	26

展示 -みなさんにおすすめしたい本を展示しています-

1階 ガラス展示・ミニ展示「To Mother Goose's world」



「お砂糖と スパイスト すてきなもの 全部・・・」
 キラキラ星やメリーさんの羊、ロンドン橋で皆さんご存知のマザーグース。
 1992年と1996年にほるぷ出版が手がけた『復刻マザーグースの世界』を展示しております。
 うっとりするような挿絵に彩られた、不思議で残酷で魅力的なマザーグースの世界。
 ガラスケース内で展示しているものは、残念ながら貸出しておりませんが、ミニ展示の方
 にて一般閲覧・貸出可能な本を展示しております。どうぞ、ご覧になってみてください。



編集後記 -雨の中-



ぼたっぼととと。しとしとぴちゃん。雨の季節がやってきました。
 長靴をはき、合羽を羽織い、友達と連れ添いくふくふと笑いながら、小さなお客さんは中央図書館へいらっしゃいます。
 思えば子どもの頃、雨降りが嬉しくてたまりませんでした。
 大きな水たまりへ勢いよく飛び込んだり、屋根の縁から流れ落ちる水玉にわざと当たって触感を楽しんだり。
 雨の気配をまといながら楽しそうに本を読む姿を見ていると、ふと、かつての自分の姿が蘇ります。
 雨と本。紙はぶよぶよになるし、なんともいえない匂いはしみつくし、相性は良くないようにみえますが、雨を題材にした
 本はたくさんありますね。独特の空気の中、五感もぐっと研ぎ澄まされていきます。
 どうやら雨模様はしばらく続くそうです。いろんな雨音をBGMにし、どうぞ、読書の時間をお楽しみください。(K. Y)

巻末思いつき雑記 -希望と絶望-

ゲーテ カフカ



ゲーテとカフカ。ともにヨーロッパを代表する作家で、時代は違いますが、生まれや境遇も非常に似ています。ひとつ極端に違うもの、それは「性格」です。とことん明るく、生きる希望に満ちたゲーテ。対照的に非常に陰鬱で暗く、絶望に満ちたカフカ。ゲーテはひたすらに生きる喜びに満ちた格言を残している。「希望は、わたしたちが生きての助けしてくれます」「希望を失ってしまったときにこそ、良いことが待っているものだよ」という絶望にすら打ち克つエネルギーのようなものを感じます。一方カフカは、「朝の希望は、午後には埋葬されている」「無能、あらゆる点で、しかも完璧に」といったかなり後ろ向きな言葉を残しています。代表作のひとつ『変身』では、出だしからいきなり「朝、目が覚めたら、虫になっていた」という衝撃的なはじまりになっています。

自殺の報道があるとそれに影響されて、次々と自殺者が増えるという現象があります。これはゲーテの代表作「若きウェルテルの悩み」に由来し『ウェルテル効果』という名前がつけられています。婚約者のいる女性ロッテに恋をした主人公ウェルテルは、遂げられない恋に苦悩し、絶望の末に自殺してしまいます。この本が発行された後に、ウェルテルと同じようなシチュエーションで自殺してしまう人が多かったそうです。このことが問題になり、しばらくは発行・販売が禁止され、破ったものには罰金という騒ぎにもなったそうです。実はこの作品、ゲーテの実体験をもとに書かれています。あれだけ希望に満ち溢れたゲーテですが、叶わぬ恋に絶望し、自殺も考えたそうです。しかし、その絶望エネルギーを創作意欲に変換し、書き上げた作品こそが240年以上たったいまでも読まれている「若きウェルテルの悩み」なのです。絶望は何も生まないようで、この素晴らしい作品を生み出していたのです。

「われわれの救いは死だ。だが、この死ではない」カフカはこのような言葉を残しています。常に後ろ向きで絶望の塊のような彼ですが、自ら死を選んだことはありませんでした。カフカが残した手紙にこのようなことが書いてあります。「いままさに人生最後の歌を歌っているところなのだ。わたしたちは何年も横たわりながら歌っているのです(要約)」つまり、いままさに死んでいく途中であると考えられます。常に死がつかまるとしているという絶望に包まれながら生きているのだから、死んでも無駄であるとも読み取れると思います。ある意味、そんな考えが希望となっているような気がします。そんな絶望を抱えながら上記の「変身」「訴訟(審判)」「失踪者(アメリカ)」「城」などといった作品を生み出しています。しかし、ゲーテとは違い、生きていときに売れた作品はなく、41歳という若さでこの世を去ってしまいます。ただ、絶望にまみれた人生にも思えますが、当の本人は希望も持っていました。「まだ可能性はある」という言葉も残しています。その希望を糧に作品を生み出していったかのようにも思えます。

対照的なふたりですが、実は絵を描いていたという共通点もあります。ゲーテの絵は風景画で、カフカの絵は先進的なタッチの個性的な絵という違いはありますが・・・。朗読が好きという共通点もあります。ゲーテが朗読が好きというのはなんとなく理解できますが、カフカが「朗読なら発表したい」と思っていたことは結構意外だったりします。

希望のゲーテ。絶望のカフカ。似ているような、月とスッポンのようなふたり。いろいろな視点から彼らの作品を読んでみると面白いかもしれません。もしカフカの作品をゲーテが読んだなら・・・と思うと、ウェルテルの悩みも変わっていたかもしれませんね。



【図書館よりお知らせ】

- ① 開館時間は朝9時30分から夜20時までです。
- ② 祝日月曜日は開館してます。振替休館はありません。
- ③ 飲食は2階リラックススペースか、



サンガーデンをご利用ください。携帯電話アクセス用 QRコード

※一般・児童コーナーへの飲食物の持ち込みは原則禁止となっております。